

のびやか



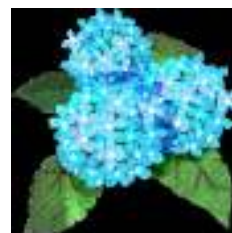
36号

肢体不自由児通園部門「どんぐり園」家族参観日



♡♡♡♡♡
 ♡ たくさんの人に囲まれる緊張の家族参観。
 ♡ 今年は『運動会』をテーマにみんなで頑張りました。
 ♡ お父さんと一緒にバギーでかけっこや
 ♡ 大好きな家族と協力して玉入れ。
 ♡ みんな自分の力で頑張ったよ!!
 ♡♡♡♡♡

・・・シリーズ 「整形外科から」 第5話（最終話）・・・



脳性麻痺に対する新しい治療ーボツリヌス治療について

青い鳥医療福祉センター リハビリテーション科長 栗田 和洋

これまで、脳性麻痺児に対する整形外科手術中心でしたが、最後に手術以外の新しい治療法の一つについて紹介します。ボツリヌス治療といって、食中毒菌の毒素を利用して筋緊張を抑える治療法です。これは顔のしわ取り注射として有名なもので、名前を聞いたことのある人も多いのではないのでしょうか。ボツリヌス菌は食中毒の原因菌で、この菌が作る毒素は筋肉を麻痺させる作用があります。そして、この菌に汚染さ

れた食物を摂ると全身の筋肉が麻痺して死亡することもあり、生物兵器の原料になることでも(2ページに続く)



目次：	
シリーズ「整形外科から」	1～2
外来診療部コーナー	3
入所部門コーナー	3
「支援を学ぶ」	4～5
「日中活動の場」紹介	6
親の会の紹介	7
読書コーナー	7
掲示板	8

有名です。しかし、1970年代にアメリカで注射療法が試行され、薬として使われるようになりました。1989年、アメリカで正式な薬物として認可されています。

実際の治療においては、毒素は注射薬として提供され、脱力させたい筋肉に直接注射されます。作用するのは神経筋接合部といい、脳からの筋収縮の信号が神経末端から筋肉に伝えられる部分です。そこではアセチルコリンという物質が神経終末から放出されることにより信号が伝達されるのですが、ボツリヌス毒素はアセチルコリンの放出を阻害するのです。毒素が注射された部では筋肉は脳からの信号を受け取ることができず、筋収縮を起こしません。効果は、約3ヵ月近くまで持続しますが、効果永続のためには3ヵ月毎に施注を繰り返す必要があります。



また、通常用量範囲で使用する限り中毒症状は出ません。しかし、長期間にわたり使用していると効果が減弱してきてることがあります。その原因としては毒素に対しての抗体が体内で作られてしまうことが原因として考えられています。

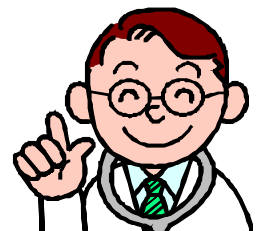
これは使用した薬剤の量が多い場合に起こりやすいことがわかっているため、必要量以上に使わないようにしなければなりません。現在、本剤は脳性麻痺児者の頸部から背部の筋緊張亢進による姿勢異常に用いられています。

施注前に、触診により異常緊張している筋群を同定し、その筋群に直接、注射します。通常は1～3 mlほどの溶解液を複数部位に分けて施注します。施注直後は何も起こりません。2～3日してから筋肉が弛緩し始め1週間後くらいで効果が最大となり、その後効果がゆっくりと減弱しつつ持続します。効果が得られると筋緊張

や姿勢異常は軽くなります。副作用として、頭部を支える筋群が麻痺するため、重だるさを感じることがあります。いわば、効き過ぎとも言えるかもしれません。そのような場合、時間と共に効果が弱まるのを待つしかありません。次回施注時に量や部位を調節する必要があるかもしれません。また、頸部前側方への施注において、深い部位に注入された場合や多量に注入された場合、喉頭周囲に浸潤し同部の筋群が麻痺に陥ることがあります。すると、嚥下障害や誤嚥を生じる可能性があります。これは場合により致命的な危険を招きますので、効果が出る時期にはその有無の確認が必要です。嚥下動作が新しい筋力バランスや姿勢の中で、これまでに行えない可能性もあります。この副作用はもともと嚥下障害をもっている患者さんの場合は特に注意する必要があります。また、頸部の姿勢変化に応じて気道の形態が変化し閉塞をきたす可能性も否定できません。その点、重度の麻痺を有する方の施注においては十分な注意が必要となります。場合によっては施注後、経鼻注入による摂食や酸素飽和度モニターによる持続的な観察が必要になると考えられます。しかし、頸部や背部の筋緊張を抑制しただけで姿勢保持・変換能力が大きく改善する例や歩容が改善する例が報告されており、様々な患者さんに対して効果が期待できると考えられます。

以上、ボツリヌス治療について簡単ですが述べさせていただきました。詳しくは関連のホームページが多数開設されておりますので参考にされるか、受診時に質問していただければよいと思います。

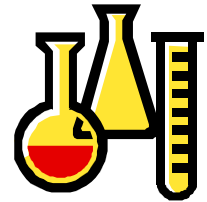
(おわり)



外来診療部コーナー

検査室より

臨床検査技師のお仕事の紹介！！



皆さんの採血した血液や尿の検査は誰が検査しているか知っていますか？それは私達、臨床検査技師が行っています。医師や看護師はテレビやドラマでよく登場するので皆さんご存知でしょうが、臨床検査技師って何をやる人？と思う方もみえるかもしれませんね。

私達は普段、検査室で働いています。検査室で行っていることは、大きく二つに分けられ血液検査・生化学検査や尿検査など体から採取された検体（血液・尿・便）を用いて行う検体検査と心電図・脳波や聴性脳幹反応（ABR）など皆さんに直接接触して行う生理検査です。生理検査を行う部屋は検査室の中にはありますが、検査室にはたくさんの機械があるためか、なかなか部屋に入りたがらない方もみえます。そんな時は時間をかけて部屋に入れるようになるまで待つこともあります。

脳波や聴性脳幹反応（ABR）検査は睡眠が必要なことの多い検査ですが、なかなか睡眠することが出来ない方も多く、約1時間で終了する検査を当センターでは一人の検査時間の枠を3時間と長めに設定しています。

私達は診療のサポートとなるよう検査結果を正確にかつ迅速に医師に報告するよう心がけています。

検体検査

【血液検査】血液中の赤血球数や白血球数などを計測し貧血や炎症がないか調べます

【生化学検査】血液中に含まれる成分（糖質・蛋白質・脂質・酵素・ホルモンなど）を分析し、体調の変化を調べます

【尿検査】腎臓の働きを調べます

生理検査

【心電図】心臓の働きを調べます

【脳波検査】脳の働きを調べます【聴性脳幹反応（ABR）検査】

脳の反応で耳が聞こえているか、あるいは脳幹内の伝達が正常かどうか調べます

（臨床検査技師 浅井）

入所部門

★★★重症心身障害児・者棟 ひまわり棟★★★

幼児から60代の方が入所され生活を送っています。

医療的ケアが常時必要な方（気管切開をされている方、経管栄養の方）が多いですが、看護師・指導員・保育士などチームで利用者の生活を24時間体制で支援しています。



デイルームとつながっているテラスで花を育てています。

天気の良い日は、花を見ながら外気浴をしています。

センター外へお散歩や買い物にでかけることもあります。

「支援を学ぶ」

私は昭和49年に障害児施設に勤めはじめました。それ以来、さまざまな施設でたくさん子どもたちやご本人さん、その親御さんたちと出会ってきました。私が学んだものは、すべてそれらの人たちとのかかわりによっています。人への援助の基本、

支援者としての基本をそこで学んだように思うのです。いま思い返すと恥ずかしいことばかりですが、そのエピソードを紹介しながら、そこで私が胸に刻んできたことをお伝えできたらと思います。

指導課長 高井 富夫

<第1話 カバンいっぱいのお菓子 一目の前にいる人は>

暑い夏の日でした。施設に勤めはじめて2年目でした。私のグループには知的障害の重い自閉症の女の子、Aちゃんがありました。小学校低学年でしたが就学猶予で学校には行っていませんでした。ことばもなく、キーツと言いながら右の手のひらを見てくるくる回るのが好きでした。Aちゃんの家は、行商しながら生活しているお母さんだけでした。今日は面会日です。何としても「あのこと」をお母さんに言わなければなりません。「あのこと」とは、面会日のたびにお母さんが大量の駄菓子をカバンいっぱい詰めて来て、子どもたちの部屋でAちゃんにあげていることです。お菓子が畳にバラバラとこぼれ、他の子どもたちがそれに殺到します。お母さんはそれを避けながら、ニコニコ顔でAちゃんにお菓子を与えつづけます。職員はお母さんに話しかけようとするのですが、うまく避けられてしまうので取り付く島がありません。結局は、お菓子を拾っている他の子どもたちを部屋から連出すので精一杯だったのです。そういう面会日が続いていて職員たちは困り果て、私がお母さんにお話をするようになっていたのです。

「お母さん、話があるのですけど」。私は思い切って話しかけました。お母さんは「すみません。すみません」と言いながら私を避けるようにして、Aちゃんの求めるままにお菓子を与えています。私は、少し声を大きくして「お母さん」と近づいた時です。お母さんが私に何度も頭を下げて「すみません、すみません。こうしてやるしかないのです」と言って急に涙をボロボロとこぼしはじめたのです。私の声色や表情がお母さんをよほど咎めるものだったのでしょう。はっと思って「お母さん、大きい声でごめんなさい。ちょっと話を聞かしてください」と声を落とした私に、お母さんは口早に言い訳を始めるのです。行商が忙しくて何度も面会に来れないこと、いろいろしてあげたいのにできない自分が歯がゆいこと、施設に入所する前はAちゃんをおんぶして行商していたことなどなど、矢継ぎ早にされる話に圧倒されて、私の口は空

いたままでした。何とか別の部屋で話を聞くまでには、カバンの中の大半のお菓子がなくなっていました。

イスに腰掛けて話を聞いてみると施設に入るまでのことや家で過ごしていた時のAちゃんの様子など、はじめて聞くことばかりでした。私はうなづいて聞くばかりで、「あのこと」の注意など宙に飛んでいました。お母さんの早口が遅くなり、トーンが落ちたのは一時間が過ぎてからでした。涙を流していた暗い表情のお母さんは、頭をもたげはにかんだ表情を見せていました。そのお母さんの顔を見て、私の中で恥ずかしさがこみ上げてきました。お母さんやAちゃんのことを何も知らない自分に気がついたからでした。お母さんがどんな思いでAちゃんを施設に入れざるをえなかったのか、お母さんらしいことをしてやりたくてもできない自分へのイライラ、面会が終わって帰るときの辛さ、どれをとっても私は何も考えていなかったのです。情けないことでした。私がお母さんにしようとしたことは、「私たちが困っていることについてお母さんに何とかしてもらおう」ということに過ぎないのです。「相手のことを何にもわかつたらんのに」。それは、この出来事があってから私の心に大きく引っかかりました。

それ以来、いま私の<目の前にいる人は>、どんな気持ちでここにいるのか、今までどうしていたのか、これからどうしたいと思っているのか、それをその人から教えてもらってから、その人とかかわろうと考えるようになりました。

私は「あのこと」を結局、お母さんに向かって注意することはできませんでした。それでも、Aちゃんのお母さんは私に会うとはにかんだ表情で頭を下げてくれました。それに、Aちゃんにあげるお菓子も減り、他の子どもたちが殺到することもいつのまにかなくなりました。



<第2話 蒲団に書かれた名前 ー母親から見えるものー>

昭和50年当時、私が受け持っていたのは起居を共にする6人の男の子たちのグループでした。その頃は、生活用品の多くを複数の子どもたちが共用していました。さすがに歯ブラシや靴、衣服などは個人別になっていましたが、サイズの合わない靴をはいたり、先週ある子どもが着ていた服を今週は別の子どもが着ているということも実際にその数年前まではあったのです。今では考えられないことです。

Bくんは15歳をすぎた重い知的障害のある自閉症の子でした。ノッポの彼は、いつも自分の鼻の頭の前で短い紐を紙縊りのようにくるくる回しては、廊下を行ったり来たりしていました。彼は部屋の隅がいいのか、いつも窓際で寝ていました。しかし、窓際に他の子どもが先に寝てしまうと仕方が

ないのでしょ、彼はカーテンの陰に隠れて眠らずに深夜まで起きていたことがよくありました。そして、蒲団が好きな彼は、部屋のみながいなくなると蒲団にほおずりをして嬉々として寝そべって

いるのでした。私にはいつも気になることがありました。彼の足が蒲団からはみ出ていることがよくあったのです。当時、蒲団はまだ共有の物品で、サイズは大と中しかありませんでした。ですから、昨夜Bくんが寝た蒲団を今夜は他の子どもが寝ているという状態で、小さい蒲団に身体の長い彼が寝ているということも当たり前だったのです。

ある日曜日、私はみんなの蒲団が新しくなったのを機に、それぞれの蒲団を決め、大きく名前を書いてしまいました。もちろんB君の蒲団はLサイズです。ひとつひとつの蒲団のサイズを確認しながら、蒲団を敷くのが実際には面倒だったのです。まったくの思いつきで、もちろん上司にも無断でしたが、それも特に気に留めませんでした。

その月の面会日でした。Bくんのお母さんがにこやかな顔で私に頭をさげて「先生、本当にありがとうございました」と言うのです。ぽかんとして「ええっ」と私が返すと、「蒲団に名前を書いてくださって、ありがとうございます。これでBの蒲団

を直してやることができます」と再び頭をさげて、微笑んでいます。「あ、いえ。勝手に名前なんか書いちゃって。すみません」とまだ分からない私。「いえね。先生が名前を書いてくださったので、私がこれからBの蒲団を洗ったり、直してやれるんです。ありがたいことです」と言うお母さんのことばを聞いて、私ははじめて合点がきました。そして、さーっと冷や汗が出てくるのが分かりました。

お母さんは、きっと夜眠る時、息子はちゃんと寝ているだろうか、気持ちがいい蒲団で寝ているのだろうか、寒くはないだろうかと心配しているのでしょう。手の届かないところで暮らしている息子を想う気持ちが、いまさらながら伝わってきました。自分が洗った蒲団カバーに寝かせてあげられたら、親としてどんなにホッとすることでしょう。今まで、お母さんがそういう気持ちで面会に来られていたことに、まったく気がついていない私でした。私が学生の頃、同じように母親が心配してくれていたことを思い出しました。いちいちうるさいこととしか感じなかったあの頃。親の心が分からないまま、ここまで来てしまった自分が情けなくもありました。その深い親心と同時に、蒲団に名前を書くという行為の意味が、職員と母親ではこんなに違うということに改めて考えさせられたのです。それ以来、<同じことでも違う立場からはどんなふうに見えるのか、どんな意味になるのか>を考えるようになった訳ですが、これも援助の基本だと気がついたのでした。

Bくんは18歳になると遠くの成人施設に変わっていきました。Bくんがその施設でとてもいい表情で暮らしていると施設の仲間から聞きました。きっと、お母さんもいい表情で面会されていたことでしょう。

(次号に続く)



「児童を対象とした日中活動の場」紹介 パート2

前号（35号）では、海部津島圏域の方が利用できる児童デイサービス、日中一時支援事業の事業所を紹介しました。今回は尾張中部圏域（清須市・北名古屋市・豊山町・春日町）の方が利用できる「児童を対象とした日中活動の場」を紹介したいと思います。

◆◆◆児童デイサービス・日中一時支援事業（尾張中部圏域）◆◆◆

①児童デイサービス ポテトフィールド 〒481-0032 北名古屋市弥勒寺西3-14	介護給付（児童デイサービス） 送迎あり	
	利用日	時間
	月～金曜日	15：00～18：00
②児童デイサービス じゃがいもの家 〒481-0041 北名古屋市九之坪天下地41-3	土曜日・長期休暇	9：00～12：00 / 15：00～18：00
	利用が可能な地域	清須市、北名古屋市、豊山町、春日町 岩倉市、名古屋市（西区）
電話 0568-23-4008	対象	未就学児・小学生
FAX 0568-23-4012	利用料金	4,070円（利用者負担 407円）
E-mail office@jagaimo.jp	送迎	片道につき 540円（利用者負担54円）
URL http://jagaimo.jp	利用定員	① 8名 ② 5名
* 居宅介護（ホームヘルプ）・介護タクシーも実施しています。 * 介護保険法も対応しています。		
じゃがいも T & C	地域生活支援事業（日中一時支援事業）	
〒481-0032 北名古屋市弥勒寺西3-14	利用日	時間
	月・木曜日	16：30～19：30
電話 0568-23-4008	土曜日（月1回）	17：00～21：00
FAX 0568-23-4012	日曜日（月1回）	7：00～11：00
E-mail office@jagaimo.jp	利用が可能な地域	北名古屋市、岩倉市
URL http://jagaimo.jp	対象	小・中・高校生
利用定員：6名	利用料金・送迎	各市町村により異なります。
* 月曜日は日常生活訓練、木曜日は就労訓練を行っています。 * 土曜日・日曜日は総合訓練を行っています。		
ほほえみの街 児童デイサービスチャオ 〒451-0013 名古屋市西区江向町6丁目41	介護給付（児童デイサービス） 送迎あり	
	利用日	時間
	月～金曜日	14：00～17：45
電話 052-528-1900	土曜日	10：30～17：45
FAX 052-528-1903	利用が可能な地域	名古屋市（西区、北区、中村区、東区、中区） 清須市、北名古屋市、甚目寺町
E-mail day-ciao@banpaku.net		
利用定員：10名	利用料金（*1）	4,312円（利用者負担 432円）
対象： 幼児・小学生	送迎（*2）	片道につき 572円（利用者負担57円）
* 1 創作活動・レクリエーション活動には材料費がかかります。 * 2 清須市、北名古屋市の方で、居宅以外への送迎は介護給付対象外となりますので別料金となります。 * 居宅介護（ホームヘルプ）・移動支援も実施しています。		

* 詳しくは各事業所にお問い合わせください。

親の会の紹介 ②



☆春日町 「ひだまりくらぶ」 訪問記

今回は西春日井郡春日町の「ひだまりくらぶ」におじゃまさせていただきました。「はるひ保健福祉センター」の2階にある保健センターの一室で毎月第4水曜日に行われています。隣には緑鮮やかな芝生広場が広がる「はるひ夢の森公園」があり、すぐ横には桜並木で有名な五条川が流れる自然豊かな環境にありました。

「ひだまりくらぶ」は今年で3年目を迎えるとのことでした。以前はラッコ教室(保健センターの健診事後指導教室)のOB会しか話せる場所がなく、思いを共有することが難しかったようです。子どもの障害のこと、親御さん自身の思いなど「分かり合える仲間で話し合いたい」という親御さん方の願いと、その場の必要性を感じた保健師さんの協力で生まれたそうです。「一番大変だった小さい頃に、『ひだまりくらぶ』に出会いたかった」と話されていた小学校高学年の親御さんの言葉が印象に残りました。昨年は「お互いの子どもを知ろう」と8月に交流会が開かれました。兄弟を交えリトミックやゲームが行われたそうです。

取材させていただいた日は、4月の定例会で、7人の親御さんと保健師さん、2人の主任児童委員の方が参加されていました。4月は進学、進級と子どもたちの環境も大きく変わる時期です。5年生になり「一泊二日の校外学習が楽しみ」と話されるお母さん。「子どもに自信を持ってほしい」と願いつつ、おっとりマイペースな所が目について、つい急かせてしまうと話されるお母さん。クラスや担

任の先生がかわった話、登下校の付き添いの話など、様々なエピソードを交えた近況報告がされていました。

普段はフリートーク中心ですが、テーマを決めて話したこともあるそうです。「お父さんについて」というテーマで話されたこともあるとのことでしたが、どんな話が出たのでしょうか？ また、町長が参加され、お母さん方の思いに耳を傾けられたり、行政への要望も出るそうですが、保健師さんは「お母さん方から勉強させてもらうことも多い」と話されていました。中央児童・障害者相談センター児童心理司さんや、小学校教務主任(特別支援教育コーディネーター)の先生を囲んでの勉強会も行われたそうです。学校の先生の話聞いた時は、学校の状況や先生が考えていることを直接聞くことができ、学校を身近に感じられるようになったとのことでした。

1ヶ月間の出来事や胸にたまっていた思いを話すと、「同じような思いをしたことがある」と話を聞いてくれる仲間がいて、お母さん方の思いを汲みとりながら一緒に考えてくれる保健師さんや主任児童委員さんがいる「ひだまりくらぶ」は、まさに「ひだまり」のような場所であるように感じました。「悩んでいるのは自分だけではない」と、仲間の親御さんや支援者に温かく受け入れられ、障害を持つ人や、その家族が思っていることを町全体で考えていくような温かさを感じた「ひだまりくらぶ」でした。(尺土)

読書コーナー

「千の風になって ちひろの空」

日本語訳 新井 満
絵 いわさき ちひろ



作者不明の詩です。

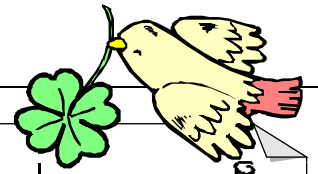
「私のお墓の前で泣かないで下さい。そこに私はいません 眠ってなんかいません」
みなさん、一度は耳にしたフレーズだと思います。「千の風になって」の本が今、多くでまわっています。

この本は、紅白歌合戦で秋川雅史さんが唄った曲にいわさきちひろさんの絵が描かれています。大切な人を亡くした時、絵を見ながら詩をおっていると悲しみを優しく癒してくれるとおもいます。

(保育士 服部 由紀子)



外来診療のご案内



	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~	リハ科(岡川)	皮膚科(杉浦)	リハ科(岡川)	小児科(羽賀)	小児科(安井)
	小児科(麻生)	小児科(安井) (小児発達外来)	小児科(麻生)	整形外科(栗田)	整形外科(栗田)
12:00	児童精神科 (長谷川) 10:00~	児童精神科(小石)	児童精神科(野邑) <第1・3・5>	児童精神科(石井) <第2・4>	児童精神科 (長谷川) 10:00~
	歯科(平岡)		小児科(安井) (小児発達外来) 9:00~11:00		
午後 13:30 ~	児童精神科 (長谷川)	小児科・染色体外来 (山中) <第2・4>	リハ科(岡川) 14:00~	児童精神科(石井) <第2・4>	眼科(高井) 14:00~
	歯科(伊藤、平岡)	児童精神科(小石)	泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4>	耳鼻科(別府)	小児外科 (小児外科医) <第3>
16:00	耳鼻科(別府)		児童精神科(野邑) <第1・3・5>	歯科(河合) <第4>	児童精神科 (長谷川)
	外来新患カンファレンス 14:00~				

小児科(安井)
(小児発達外来)

○平成18年4月現在の外来診療です。
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

外来療育相談予定表 (6~8月)

	伊藤相談員		大橋相談員	
	午前	午後	午前	午後
6月7日(木)	○	○	6月4日(月)	○ ○
6月14日(木)	○	○	6月11日(月)	○ ○
6月22日(金)	○	○	6月25日(月)	○ ○
6月29日(金)	○	○	7月2日(月)	○ ○
7月6日(水)	○	○	7月10日(火)	○ ○
7月13日(金)	○	○	7月23日(月)	○ ○
8月1日(水)	○	○	7月31日(火)	○ ○
8月10日(金)	○	○	8月6日(月)	○ ○
8月24日(金)	○	○	8月20日(月)	○ ○
8月31日(金)	○	○		



担当 伊藤相談員

地区 津島市、弥富市、海部郡(七宝町、甚目寺町、飛島村)、北名古屋市
 その他の市町村(名古屋市以外)

担当 大橋相談員

地区 愛西市、海部郡(美和町、大治町、蟹江町)、清須市、西春日井郡(豊山町、春日町)、名古屋市



ホームページも
 ご覧ください

<http://www009.upp>